

一般国道23号 中勢道路

# 埋蔵文化財発掘調査概報 21



三重県指定有形文化財 木造赤坂遺跡出土陶質土器

2009. 7

三重県埋蔵文化財センター





# I 前 言

## 1 中勢道路と埋蔵文化財保護

中勢道路は、三重県中勢地域の道路網を充実させるとともに、交通緩和とバイパス周辺の適切な土地利用を図り、地域の経済発展に寄与するために、一般国道23号のバイパスとして計画された鈴鹿市北玉垣町から松阪市小津町までの延長33.8kmの道路である。当事業地内における埋蔵文化財の保護取り扱いについての協議は昭和58年から行われているが、その詳細については各概報に記載されているので参照されたい。

## 2 平成20年度の現地調査

平成20年度の埋蔵文化財発掘調査業務の委託契約は、国土交通省中部地方整備局長と三重県知事との間で4月1日に締結した。契約期間は平成20年4月1日から平成21年3月31日である。

本年度の調査工程や具体的方法については、5月27日に国土交通省三重河川国道事務所と三重県埋蔵文化財センターで協議を行った。その後、同様の協議を6月、8月、10月にも行い、発掘調査業務の円滑な推進を図った。また、次年度の調査にむけて、用地取得状況や調査計画についての協議を1月、3月に行った。

現地調査としては、8月に稲降遺跡の第1次調査、10～12月に相川西方遺跡の第1次調査を行った。

稲降遺跡は、中勢バイパス本線部分と国道306号振替線部分付近が調査対象範囲であるが、調査の条件が整った本線部分のみ、平成18年度に第1次調査が行われた。調査の結果、遺構・遺物が確認されなかったため、工事が可能な状態となっている。今回は、調査の条件が整った残りの部分を対象に、第1次調査を行った。調査対象範囲は3,600㎡、調査面積は300

㎡である。

相川西方遺跡については、調査対象範囲のうち、調査の条件が整った北半部のみ、第1次調査を行った。調査対象範囲は10,000㎡、調査面積は1,000㎡である。

## 3 平成20年度の整理作業と報告書作成

過年度に現地調査を実施した池新田遺跡、木造赤坂遺跡、井手ノ上遺跡、舞出北遺跡、筋違遺跡の遺物実測・写真撮影、木製品・金属製品の保存処理、調査現場の図面・写真整理など、報告書作成に向けての資料整理を鋭意行った。

また、中林・中道遺跡、里前遺跡（第5次）、向山遺跡（第4次）の報告書を作成、刊行した。

## 4 その他

平成20年5月には、平成19年度までの4年間に調査した木造地区（池新田遺跡・木造赤坂遺跡・井手ノ上遺跡）の調査成果を特集した「中勢道路調査ニュース」№50を発行した。また、12月には、稲降遺跡と相川西方遺跡の調査結果に、中勢道路の20年にわたる発掘調査のあゆみを添えて「中勢道路調査ニュース」№51を発行した。

平成21年3月11日には、木造赤坂遺跡出土の陶質土器（コップ形土器）が三重県指定有形文化財に指定された（表紙写真）。これは、平成18年度の調査において出土したもので、国内に類例はなく、韓国慶尚南道陝川郡に所在する玉田古墳群で出土したものと酷似している。これまでの調査により、4世紀後半から5世紀前半の限られた時期に伽耶地域で作られたことが判っていることから、この地域との地域間交流を解明する良好な資料といえる。

（水橋公恵）

第1表 平成20年度 中勢道路発掘調査遺跡一覧

	工区	番号	遺跡名	所在地	調査面積	調査期間	担当者
第1次調査	8	17	稲降遺跡	津市河芸町三行字稲降	300㎡	平成20年8月18日 ～平成20年8月26日	前野謙一 水橋公恵
	12	48	相川西方遺跡	津市久居相川町	1,000㎡	平成20年10月15日 ～平成20年12月15日	淺尾 太 大野真美 沙 子 才木 薫
合 計					1,300㎡		



第1図 中勢道路（8工区付近）遺跡位置図（1：50,000）（国土地理院1：25,000「榎本」「白子」から）



第2図 中勢道路（12工区付近）遺跡位置図（1：50,000）（国土地理院1：25,000「津西部」「津東部」「大仰」「松阪港」から）

## II 調査のあゆみ

昭和58年4月、中勢バイパスが都市計画道路として決定されたことをうけて、三重県教育委員会は遺跡地図を確認するとともに計画路線内の遺跡分布調査を行った。その結果、多数の埋蔵文化財が路線内に点在することがわかり、現状保存が困難な遺跡については事前の発掘調査を実施することが必要となった。

発掘調査は、昭和63年に津市内で始まった。まず、主要地方道津関線から津芸濃大山田線までの区間(9工区)で、六大B遺跡・橋垣内遺跡・大古曾遺跡・山龍遺跡・宮ノ前遺跡・松ノ木遺跡の第1次調査が行われ、8月の初めからは太田遺跡・森山東遺跡の本調査が開始された。太田遺跡の自然流路からは弥生時代後期から古墳時代の土器や、鎌・杵・建築部材などの木製品が大量に出土し、県内で2例目となる銅鐸形土製品も見つかった。森山東遺跡からは弥生時代の水田跡が何面も確認された。12月24日には両遺跡の調査成果を発表する現地説明会を行い、多くの人々の参加を得た。

本格的な調査が開始されてから2・3年目にあたる平成元・2年度には、年間2万㎡を超える広大な面積の発掘調査が行われた。縄文時代や弥生時代から近代までの複合遺跡である宮ノ前遺跡や橋垣内遺跡、墳丘裾部に円筒埴輪が並べられ、蓋・家・盾・靴・人物・鳥など多種多様な形象埴輪が出土した門脇北古墳などで多くの成果があげられた。

平成2年度から5年度の4年間に約25,000㎡の調査が行われた六大B遺跡は、全国で22遺跡目、県下で4例目となった和同開珎銀貨や、役人の帯飾りである石帯、大量の緑釉陶器、奈良時代後半と見られる木簡、総数100棟を超える掘立柱建物が見つかるなど、一般的な集落とは異なる遺跡として非常に注目を集めた。

平成3年度には鈴鹿市内の第1次調査も始まった(6工区)。平成4年度には稲生遺跡や南谷遺跡、平成7・8年度には高井A遺跡の本調査が行われた。稲生遺跡は、建て替えを伴う33棟の堅穴住居が密集して検出され、稲生古窯跡群との地理的・時期的な

近似性から古墳時代の須恵器生産に関わる集落跡とみられている。

平成6・7年度に調査された六大A遺跡からは、礎敷と井敷が設けられた大溝が検出され、その埋土からは足の踏み場にも困るほど大量の遺物が出土した。古墳時代の祭祀に供された土器や漆塗りの武器、琴・鏡、古代の踏脚礎・土馬・土管が出土するなど、県内屈指の遺跡であることが判明した。

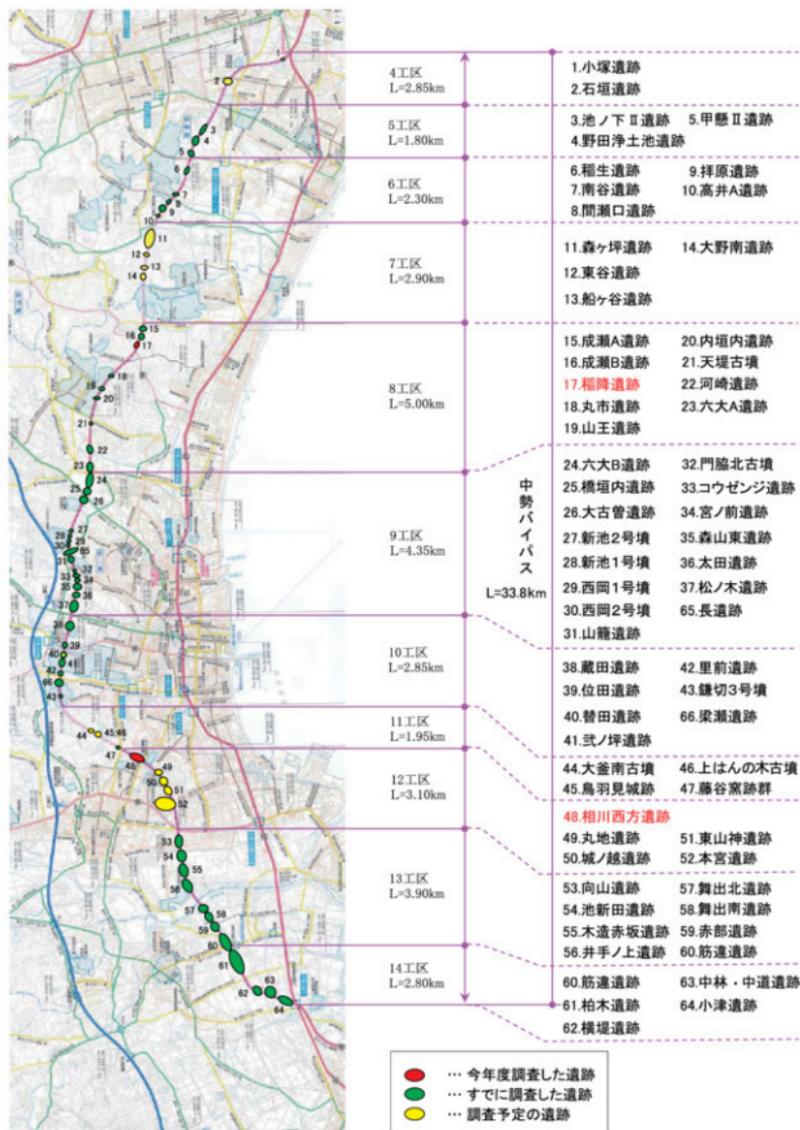
平成6年度から10年度にかけては安濃川付近から岩田川にかけての地域(10工区)で重点的に調査が行われた。位田遺跡は、大型の掘立柱建物、基石・宝珠礎・緑釉陶器などの特殊な遺物が見つかったことから一般的な集落ではなく、富豪層の屋敷地と推定されている。

平成11年度以降は雲出川付近から南勢バイパスまでの地域(13・14工区)で重点的に調査が行われた。舞出北遺跡からは、雲出川堤防のすぐ脇という立地ではあまり想定されない古墳が見つかり、埴輪や鉄刀などが出土した。筋違遺跡からは、弥生時代前期の畝や水田が見つかった。他に、現存木簡が出土した中林・中道遺跡やサイコロが出土した小津遺跡など、室町時代の集落が確認された。

平成17年度から19年度にかけて、約25,000㎡の本調査が行われた木造赤坂遺跡からは、国内に類例のない特異なコップ形の陶質土器や大量の白玉、銅製の筭、大量のロクロ土師器、70棟を超える古墳時代の堅穴住居、平安時代末期・鎌倉時代・室町時代の屋敷地が見つかった。遺跡のある一帯は、平安時代後期から戦国時代にかけて「木造荘」という荘園があった場所として知られており、斎宮や伊勢平氏、木造氏との関わりでも注目されている。

発掘調査開始から20年目の平成19年度末の段階で5・6・9・13・14工区の現地調査が終了した。平成20年度の調査により8工区も終了し、現地調査が済んだ遺跡は53遺跡にのぼる。

現在把握されている残りの遺跡は、鈴鹿市内(4・7工区)6遺跡と津市南部(10・11・12工区)9遺跡の合計15遺跡である。(水橋公恵)



第3図 中勢道路路線内遺跡位置図

第2表 中野道路發掘調査成果一覧

工区	道路名	所在地	調査面積 (㎡)	S63	H1元	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	
3	池ノ下直道跡	跡部市福生町	17,000	1,300															1,300						※1
		日：池ノ下直道跡	0	0																970					
4	野田遺跡	跡部市福生町	12,600	970															1,150	2,650					※1
5	甲船目遺跡跡	跡部市福生町	6,200	1,150															1,150						※1
		日：甲船遺跡跡	2,650																	330					※1
一	浄土池遺跡跡	跡部市福生町	—	0															330						※1
小計			35,800	3,750	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,750	0	0	0	0	0	0
6	福生遺跡跡	跡部市福生町	3,300	182			182																		0
		日：福生1-4号跡	2,100				2,100																		0
7	南谷遺跡跡	跡部市福生町	4,000	176			176																		0
		跡部市福生町	1,300				1,300																		0
6	四瀬口遺跡跡	跡部市福生町	7,000	96			96																		0
9	梓原遺跡跡	跡部市御園町	7,000	64			64																		0
10	高井八遺跡跡	跡部市池田町	4,000	96			96																		0
小計		跡部市池田町	25,300	617	0	0	361	250	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		日：福生1-4号跡	7,950	0	0	0	3,400	0	0	0	0	4,100	450	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計			600																				600		0
8	15成瀬A遺跡跡	津市河原町三行	12,000																						0
1	16成瀬B遺跡跡	津市河原町三行	8,700	140																			140		0
		津市河原町三行	2,500	500																			500	200	300
17	福島遺跡跡	津市河原町三行	2,500	0																					0
小計			23,200	1,300	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,000	0	300
18	丸沼遺跡跡	津市河原町南福田	1,600	128				128																	0
19	山王遺跡跡	津市河原町南福田	3,700	128				128																	0
		津市河原町南福田	4,200	128				128																	0
8	20内田内遺跡跡	津市河原町南福田	4,200																						0
2	21天塚古墳	津市大車路合町	900	55					55																0
		津市大車路合町	954	254					254																0
22	河崎遺跡跡	津市大車路合町	16,600	448				448																	0
23	六八遺跡跡	津市大車路合町	17,800	448				448																	0
		津市大車路合町	13,250	96				96																	0
小計			35,800	1,143	0	0	0	1,047	96	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計			13,220		0	0	0	0	0	8,850	4,130	250	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

工区	道路名	所在地	道路面積 (㎡)	面積延率 (%)	S63	H元	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	
24	六太田道路	津市大津田町	26,235	444	416	17,525	3,420	3,350	1,270	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
25	桶田内道路	津市大津田町	12,000	176	176	7,000	4,925	75	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
26	大古野道路	津市一身田	12,435	692	352	2,290	3,160	240	7,035	0	0	0	195	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
27	新漁舟分項	津市一身田	—	195	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
28	新漁舟分項	津市河辺町	—	20	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
29	西岡1号墳	津市河辺町	2,000	70	2,000	2,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
30	西岡2号墳	津市河辺町	—	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
31	山籠道路	津市河辺町	1,100	208	1,100	1,100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
32	門脇北古墳	津市河辺町	1,100	0	1,100	1,100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
33	コウセンジ道路	津市河辺町	—	80	80	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
34	宮ノ前道路	津市長岡町	2,800	141	144	2,100	0	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
35	森山東道路	津市長岡町	5,230	240	240	5,230	4,250	1,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
36	太田道路	津市長岡町	3,320	499	499	3,320	3,320	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
37	松ノ木道路	津市安東町	7,800	144	144	7,800	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
65	長瀬路	津市河辺町	3,700	3,700	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小計			77,720	2,915	2,249	0	300	100	650	0	0	0	198	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
				77,720	77,720	20,700	22,430	8,655	5,590	8,465	670	3,700	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
38	蔵田道路	津市西河町	12,800	1,356	695	695	0	0	0	0	0	0	748	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
39	位田道路	津市北河部町	7,100	416	416	416	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
40	砂田道路	津市南河路	7,900	432	176	176	0	0	0	0	0	0	256	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
10	工41式ノ坪道路	津市野田	5,700	303	303	303	0	0	0	0	0	0	6,030	4,210	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
42	里前道路	津市野田	3,000	256	160	160	0	0	0	0	0	0	96	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
66	安瀬道路	津市野田	—	1,152	1,152	0	0	0	0	0	0	0	474	678	1,290	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
43	切畑3号墳	津市神戸	—	3,620	3,620	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,620	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小計			36,500	43,960	0	1,680	0	0	0	0	0	0	748	825	678	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和49年津市都市整備委員会公算額調査																										
昭和49年津市都市整備委員会公算額調査																										

工区	遺跡名	所在地	対象面積 (㎡)	面積 (㎡)	S63	H元	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
48	相川西宮遺跡	津市 久居福川町	18,000	1,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
49	丸地遺跡	津市番水	4,100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	50 城ノ原遺跡	津市	16,300	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	51 東山神遺跡	久居小野辺町	13,300	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	52 本宮遺跡	津市 久居野村町	11,300	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計			63,000	1,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	53 向山遺跡	津市 高茶屋小森町	28,000	1,790	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	54 池新田遺跡	津市水清町	16,300	1,961	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	55 水造赤坂遺跡	津市水清町	17,500	1,192	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	56 井手ノ上遺跡	津市水清町	12,500	370	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19	57 舞出北遺跡	松阪市舞出町	9,600	960	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	58 舞出南遺跡	松阪市舞出町	16,300	11,170	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	59 赤部遺跡	松阪市	16,800	1,190	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	60 藤澤遺跡	松阪市 藤野新庄町	37,000	3,630	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計			154,000	11,356	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23	60 藤澤遺跡	松阪市 藤野新庄町	—	770	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24	61 柏木遺跡	松阪市 藤野山北町	31,000	1,470	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25	62 横道遺跡	松阪市 藤野津屋津町	21,500	2,990	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26	63 中林・市川遺跡	松阪市道町	18,600	1,010	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27	64 小津遺跡	松阪市小津町	23,000	1,424	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計			94,100	5,834	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計			548,420	31,827	2,240	1,650	390	461	324	1,047	96	748	1,024	678	2,010	0	3,600	0	84	3,900	4,585	1,380	1,490	0	1,300
上段：第1次調査面積、下段：本調査面積			243,954	7,550	20,700	124,400	8,655	8,990	8,405	15,160	18,740	15,230	9,310	4,900	4,720	0	4,090	3,380	2,900	6,300	10,700	20,470	11,870	10,654	0

※1：方丈に示しては、※1：新田市（教育委員会） 茨城 ※2：津市教育委員会茨城 ※3：松阪市（国野町）教育委員会茨城

### Ⅲ 稲降遺跡（第1次）

#### 1 はじめに

当遺跡は津市河芸町三行に所在し、弥尼布理（みねふり）神社の北西側、現時点における中勢バイパスと国道306号線が合流する交差点の北側に位置し、丘陵から谷にかけて立地している（第1図）。地目は、水田・荒蕪地・山林である。これまで古墳時代を中心とした遺跡として知られてきた。

周辺の主な遺跡としては、北西側に古墳時代の須恵器を焼いた窯が38基確認されている徳居古窯跡群、北側に三行城跡などがある。

#### 2 調査概要・結果

平成18年度に引き続き、遺跡の範囲等の確認を目的として第1次調査を行った。今回は、荒蕪地と山林丘陵部において、幅2mのトレンチ状の調査区を5箇所（A～E区）設定した（第4図）。

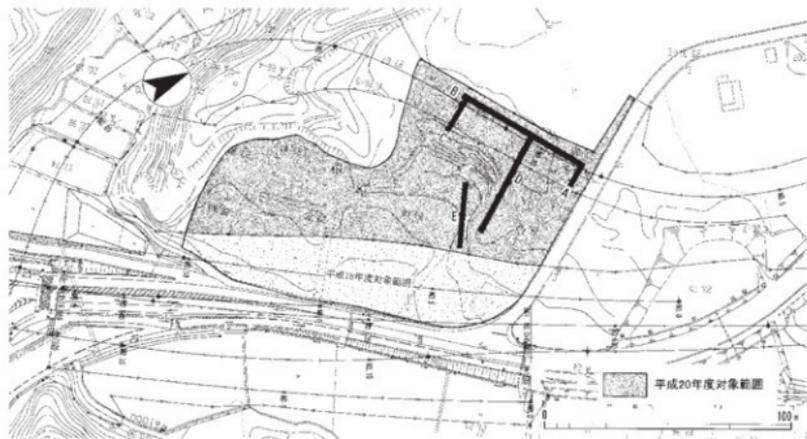
調査の結果、A・B・C区およびD区北部では、厚さ30cmほどの表土（腐葉土）直下で地山が確認された。D区南部では、表土の下に現代の掘乱土が厚く堆積しており、E区では北から南へ開口する谷地形を確認した。いずれの調査区においても、遺構・遺物は確認されなかった。（前野謙一）



B区（南西から）



D区南部（南東から）



第4図 稲降遺跡 調査区位置図（1：2,000）

## IV 相川西方遺跡 (第1次)

### 1 はじめに

相川西方遺跡は、津市久居相川町に所在し、相川の北側、浅い谷の部分に位置する(第2図)。これまで弥生時代から古墳時代を中心とした遺跡として知られてきた。西側の丘陵上に久居古窯跡群がある。

### 2 調査概要・結果

本年度は遺構の広がりや密度、時期の確認を目的として第1次調査を行った。幅2mのトレンチを16箇所(A～P区)設定した(第5図)。

調査の結果、現状では北から南に向かって低い地形であるが、H～K区が位置する地点の旧地形は浅い谷状になっていた。また、J・L区は南に向かって高くなっており、J・L区の南側とN区は削平を受けていた。

北側の基本層序は第1層(第6図1層):表土、第2層(同3層):黒褐色粘質土、第3層(同6～8層):黒褐色砂質土～褐灰色粘土、第4層(同15層):黒色粘土、第5層(同26層):暗灰色粘土、第6層(同28層):褐灰色粘土である。遺構の検出は第VI層上面で行った。

H～K区では土坑や溝と思われる遺構を検出した。土層観察の結果、第V層上面から掘削されていることがわかった。また、不整形な土坑状のものも多数確認したが、その性格は不明である。遺物はI区の土坑の中から台付甕(第7図1)が出土し、表土などから須恵器や土師器、埴輪片などが出土した。

O・P区は現状でも一段低い地形になっている。遺構検出を行った結果、土坑状の遺構を確認し、遺物は須恵器や土師器が出土した。

一方、西側のA～G区では須恵器高杯(第7図2)や陶磁器などの遺物が出土したものの遺構は確認されなかった。

以上のように、古墳時代を中心とする遺構・遺物の広がりや確認できたことから、H～P区にかけての約5,800㎡(第5図)について本調査が必要と判断した。

(野島美沙子)



第5図 相川西方遺跡 調査区位置図(1:5,000)



J区遺構検出状況(南東から)



J区検出遺構(東から)



# 報告書抄録

ふりがな	いっばんこくどうにじゅうさんごうちゅうせいどうろまいぜうぶんかぎいはくつちょうさがいほうにじゅういち						
書名	一般国道23号中勢道路埋蔵文化財発掘調査概報21						
副書名							
巻次							
シリーズ名	一般国道23号中勢道路埋蔵文化財発掘調査概報						
シリーズ番号	21						
編著者名	水橋公恵 前野謙一 野島美沙子						
編集機関	三重県埋蔵文化財センター						
所在地	〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川503 In 0596-52-1732						
発行年月日	2009（平成21）年7月						
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村 遺跡番号	北緯 ' ° ' "	東経 ' ° ' "	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
いねふりいせき 稲降遺跡	みえけんつしかのびちやうのみゆき 三重県津市河芸町三行	201 c 46	34° 47' 51"	136° 31' 4"	20080818～ 20080826	第1次調査 300	一般国道23号 中勢道路建設
あいはわせいほういせき 相川西方遺跡	みえけんつしひさいあいはわちやう 三重県津市久居相川町	201 b 180	34° 41' 21"	136° 29' 14"	20081015～ 20081215	第1次調査 1,000	一般国道23号 中勢道路建設
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項
稲降遺跡	遺物散布地		なし		なし		
相川西方遺跡	遺物散布地	古墳時代	土坑・溝		土師器・須恵器・埴輪		
要約	稲降遺跡	遺跡は、中勢道路と国道306号線が合流する北側に位置し、丘陵から谷にかけて立地している。平成18年度に引き続き、2度目の第1次調査を行ったが、遺構・遺物ともに確認されなかった。					
	相川西方遺跡	遺跡は、相川の北側、浅い谷の部分に位置する。範囲確認を目的とした第1次調査を行った。古墳時代の土坑・溝を検出し、土師器・須恵器・埴輪が出土した。遺構が検出された範囲（約5,800㎡）について本調査が必要と判断した。					

一般国道23号 中勢道路

## 埋蔵文化財発掘調査概報 21

2009（平成21）年 7月

編集・発行 三重県埋蔵文化財センター

印刷 (有)山文印刷